2015年12月
東都生協NO_2測定濃度分布図

2015年12月3日～12月4日に測定したNO_2(二酸化窒素)の測定結果をお知らせします。

人の健康に悪影響を与える汚染物質、イオウ酸化物(SOx)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NOx)、炭化水素、浮遊粒子状物質(SPM、PM2.5)などは、主に自動車から出る排気ガスが原因です。

東都生協は、身近な場所の空気を実際に測って自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいかをみんなで考えていくために、1988年から二酸化窒素NO_2測定活動を実施しています。

2015年12月の測定結果

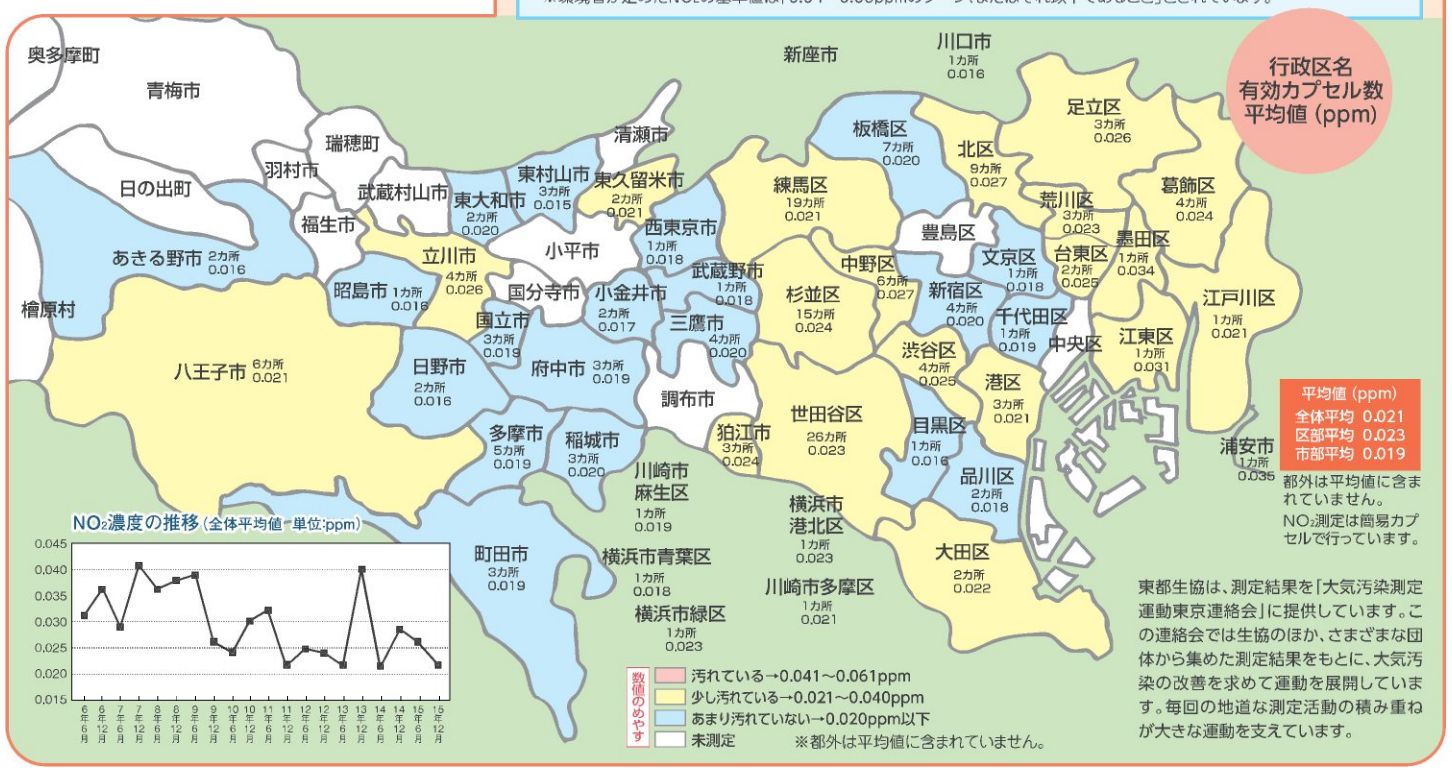
今回測定したNO_2(二酸化窒素)の平均濃度は0.021ppm。前回(2015年6月4日～5日測定)の平均値(0.026ppm)と比べて0.005ppm低い濃度です。都内の主な大気汚染常設監視測定局が測定したNO_2平均濃度は、道路沿いが0.025ppm、住宅地は0.018ppmでした。

一斉測定日:
2015年
12月3日(木)午後6時 ～
12月4日(金)午後6時
(前後2時間を有効)

当日の天気:
3日(曇り)、4日(晴れ)
風速:
3日　2m/s
4日　4m/s

測定規模
・カプセルの配付数:245個
・カプセルの返却数:214個　(回収率87.3%)
・有効測定数　　:172個　(有効回収率:70.2%)
測定結果:NO_2(二酸化窒素)の全体平均値
0.021ppm(区部0.023、市部0.019)

※環境省が定めたNO_2の基準値は「0.04～0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。



東都生協は、測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会」に提供しています。この連絡会では生協のほか、さまざまな団体から集めた測定結果をもとに、大気汚染の改善を求めて運動を展開しています。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。